

令和7年度 KITA プロジェクト 活動状況報告

12月23日（火） KITA プロジェクト 全体発表会

研究カテゴリ : 全て

先日のカテゴリ別発表会で選抜された代表チームによる全体発表会が行われました。先日のカテゴリ別発表会で選抜された代表チームによる全体発表会が行われました。青森青年会議所から理事長 三上大介氏、副理事長 森舜亮氏、室長 関貴光氏をお招きし、審査に参加していただきました。

全6つのチームによる発表が行われ、審査の結果「津軽びいどろの魅力発信」というテーマで発表した2名のチームが第1位に選ばれました。

この日は1年生も聴講しました。まだまだ研究テーマも定まっていない生徒が多い中、先輩たちの活動内容や研究成果に真剣に耳を傾けていました。1年生は10月から各研究カテゴリのゼミに分かれて活動を進めています。課題設定の視点、仮説立案のしかた、検証活動の手法など、様々なヒントが得られたようです。

以下は生徒の振り返りの抜粋です。

『今自分たちにできることの例が具体的で、今すぐにでも始められそうなことから、問題をより身近に感じる事が出来た。グラフや写真で分かりやすく説明がされていることで、問題へのイメージや印象が変わった。』

『課題と自分が何を調べたいのかをはっきりさせておく事が、研究を進める上でとても大切になると分かりました。また、より具体的で納得の出来る研究結果を作るためには、実際に企業に協力をしてもらったり、実験を試みたりと、自分たちで動いて調べていくことが必要だと分かりました。来年からの活動ではこの発表で学んだことを参考にし、社会の問題を改善するための方法と視野を広げていきたいです。』

『自分でテーマを決めて、自分で研究方法を考え、実践していてすごいと思った。また実験に失敗しても自分たちで問題点を見つけやり直している行動力もすごいと思った。自分で1からやるのは難しいと思ったけど、先輩方の発表を参考に前向きに頑張ろうと思った。』

『私が興味を持ったのは津軽びいどろでした。津軽びいどろは知っていましたが、お皿やコップも持っています。ですがそれを石鹸にするという発想がびっくりしました。でも石鹸ならいろんな人が気軽に買えるし、たくさん広めることができるなと思いました。とても面白かったです。』





